

めぐみイエス・キリスト教会

2018年8月19日(日)第三主日礼拝
週報「通算第419号」



2018年標題聖句

使徒の働き27章22節～26節

《「しかし、今、お勧めします。元気を出しなさい。あなたがたのうち、命を失う者はひとりもありません。失われるのは船だけです。昨夜、私の主で、私の仕えている神の御使いが、私の前に立って、こう言いました。『恐れてはいけません。パウロ。あなたは必ずカイザルの前に立ちます。そして、神はあなたと同船している人々をみな、あなたにお与えになったのです。』

ですから、皆さん。元気を出しなさい。すべて私に告げられたとおりになると、私は神によって信じています。私たちは必ず、どこかの島に打ち上げられます。』》

第一礼拝	毎週日曜日	午前10時～10時45分
第二礼拝	毎週日曜日	午後6時～7時
聖書研究・祈祷会	毎週水曜日	午後6時15分～7時15分

牧師 鈴木 竜 実
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◇◆◇2018年8月19日(第三主日)

第一礼拝 午前10時～10時45分

(一) 司会 鈴木竜実牧師 奏楽 鈴木竜実牧師

第二礼拝 午後6時～7時

(二) 司会 鈴木竜実牧師 奏楽 佐野みゆきさん

◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】

【賛美Ⅰ】 新聖歌261「流し給いし」 p. 408

【交読文】 No.10 詩篇第31篇 p. 886

【賛美Ⅱ】 新聖歌332「主は真のぶどうの木」 p. 528

【使徒信条】

【主の祈り】

【先週説教】

【賛美Ⅲ】 オリジナルNo.14 「み言葉に帰ろう」

【聖書朗読】 ヨハネの福音書15章9節～11節(新約p. 193)

【祈 禱】

【説 教】 《喜びが満たされる人生とは?》

【聖餐式】 (第二礼拝のみ)

【賛美Ⅳ】 新聖歌291「神の国と神の義」 p. 465

【平和祈り】

【頌 栄】 新聖歌63 「父・御子・御霊の」 p. 85

【祝祷後奏】

●ポイント1 「父が私を愛されたように」とは？

※ルカの福音書2章41節～52節「十二歳のイエス様」(新約p.101下段)

※マルコの福音書1章9節～11節「バプテスマを受けた時に」(新約p.59)

1:9 そのころ、イエスはガリラヤのナザレから来られ、ヨルダン川で、ヨハネからバプテスマをお受けになった。

1:10 そして、水の中から上がられると、すぐそのとき、天が裂けて御霊が鳩のように自分の上に下られるのを、ご覧になった。

1:11 そして天から声がした。「あなたは、私の愛する子、私はあなたを喜ぶ。」

●ポイント2 「私もあなたがたを愛しました」とは？

※ヨハネの福音書13章1節 「最後の晩餐において」(新約p.189)

13:1 さて、過越の祭りの前に、この世を去って父のみもとに行くべき自分の時が来たことを知られたので、世にいる自分のものを愛されたイエスは、その愛を残るところなく示された。

●ポイント3 「あなたがたの喜びが満たされるため」とは？

※ヨハネの福音書11章41節～43節「ラザロのよみがえり」(新約p.183)

11:41 そこで、彼らは石を取りのけた。イエスは目を上げて、言われた。「父よ。私の願いを聞いてくださったことを感謝いたします。」

11:42 私は、あなたがいつも私の願いを聞いてくださることを知っておりました。しかし私は、回りにいる群衆のために、この人々が、あなたが私をお遣わしになったことを信じるようになるために、こう申したのです。」

11:43 そして、イエスはそう言われると、大声で叫ばれた。「ラザロよ。出て来なさい。」

※第 I ヨハネ5章14節～15節「使徒ヨハネの確信」(新約p.432)

5:14 何事でも神のみ心にかなう願いをするなら、神はその願いを聞いてくださるといふこと、これこそ神に対する私たちの確信です。

5:15 私たちの願う事を神が聞いてくださると知れば、神に願ったその事は、すでにかなえられたと知るのです。

◎先週のメッセージの概要【とどまらないことと、とどまることとは？】

《主イエス様は、十一人の弟子たちに「ぶどうの木のとえ」を話されました。

この関係をパウロは、オリーブの木と枝のとえを用いて説明しています。『あなたが根をささえているのではなく、根があなたをささえているのです。彼らは不信仰によって折られ、あなたは信仰によって立っています。倒れた者の上にあるのは、厳しさです。あなたの上にあるのは、神の慈しみです。ただし、あなたがその慈しみの中に留まっていれば。(ローマ11:17～11:22)』

イエス様の信仰に留まっていなければ、私たちは枯れてしまうのです。

ヘブル人への手紙の著者はこう警告します。

『一度光を受けて天からの賜物を知り、聖霊にあずかる者となり、神のみ言葉とを味わったうえで、しかも墮落してしまうならば、そういう人々をもう一度悔い改めに立ち返らせることはできません。(ヘブル6:4～6:6)』と。

それでは、主イエス様にとどまることとはどのようなことなのでしょう。それはイエス様を神の御子としてメシヤとして、心から信じることです。

そして主の言われたみ言葉と命令に従うことなのです。み言葉と共に歩むことこそが、主にとどまることであり、とどまり続けることなのです。

そして次に言われたことが、「何でもあなたがたのほしいものを求めなさい。そうすれば、あなたがたの為にそれがかなえられます。」と仰ることです。

これには前提条件があります。それが「あなたがたが私にとどまり、私の言葉があなたがたにとどまるなら」と仰ることです。

これは主の御心に沿った祈りならば、それは全部叶えられるということです。しかし自分の欲望を満たす為の祈りには、主は答えては下さいません。

そして「あなたがたが多くの実を結び」と言われましたが、「実」とは「良い行ない」のことです。「あなたがたの光を人々の前で輝かせ、あなたがたの良い行ないを見て、天におられる父をあがめるようにしなさい。」私たちは、人を祝福する為に、生かされているのです。そしてその「良い行ない」もすべて用意されているのです。》

◎お知らせ

1. 次回第4主日礼拝は、8月26日(日)午前10時と午後6時からです。祈祷会は8月29日(水)午後6時15分です。8月22日(水)は、都合によりお休みです。
2. 8月15日(水)祈祷会には、平山輝明師が来られ、宣教報告がありました。

